

令和8年7月号

# 安全就業について

## 《お知らせ》

7月は安全・適正就業強化月間です

令和7年度・8年度 安全標語  
慣れた作業にも落とし穴 初心に返り事故防止

山口 敬史 会員作

1. 熱中症に注意しましょう！
2. 食中毒に注意しましょう！
3. 令和7年度重篤事故発生状況
4. 健康診査受診状況
5. 危険予知訓練（KYT）
6. 空調付き作業着等購入助成金交付要綱

（公社）吹田市シルバー人材センター

会 員 各 位

公益社団法人 吹田市シルバー人材センター  
理事長 青 木 博 久  
安全対策委員会  
委員長 富 井 裕 生

盛夏の候、会員の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

日頃から、センター事業にご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、本年 5 月に、令和 8 年度の安全就業計画ほか安全就業に向け、ご留意いただきたい点についてお知らせしましたが、この時期特有の熱中症対策などについて再度お知らせいたします。また、6 月 30 日現在の事故発生状況は、傷害事故 4 件（うち請負・委任 2 件、派遣 2 件）、賠償事故 0 件となっております。事故防止のため、KYT を積極的に活用するとともに、日常生活におきましても**ひとつの行動を慎重に行っていただきますよう、皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。**

安全は、自分だけのためだけでなく、事故が起きると利用者、発注者、地域、センター全体にも迷惑が及ぶことなどから、就業に際してのルールを順守していただくよう重ねてお願い申し上げます。

#### 事故の詳細

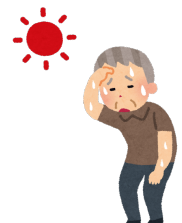
##### 傷害事故（請負・委任）

|                                                          |
|----------------------------------------------------------|
| 1.就業中、歩道上で自転車に衝突され転倒、側頭部を打ち出血。<br>○ 急性硬膜下血腫、軽い脳挫傷        |
| 2.就業後、自転車で帰宅途中、前かごのタオルを取ろうとしてバランスを崩しガードレールに衝突。<br>○ 右手骨折 |

##### 傷害事故（派遣）

|                                                             |
|-------------------------------------------------------------|
| 1.就業後、バイクで帰宅中、交差点を右折した際、後輪がスリップしバランスを崩して転倒。<br>○ 右足くるぶしの骨折。 |
| 2.就業中、工場内で製品を移動中、原料の入った箱に足がひっかかり、後ろ向きに転倒。<br>○ 後頭部打撲、切り傷    |

## 1. 熱中症に注意しましょう！



熱中症とは、高温・多湿環境下で、体内の水分や塩分のバランスが崩れたり、体温調整機能がうまく働かないことにより、体内に熱がたまり、筋肉痛や大量の発汗、さらには吐き気や倦怠感などの症状が現れ、重症になると意識障害などが起こる病態です。

気温が高い、湿度が高いなどの環境条件と、体調がよくない、暑さに体がまだ

なれていないなどの個人の体調による影響とが組み合わされることにより、熱中症の発生が高まります。

運動中や仕事以外にも、就寝中など日常生活の中で、室内で熱中症を発症し、救急搬送されたり、不幸にも亡くなられたりする事例が報告されています。

熱中症は、予防が大切です。暑いときには熱中症の兆候に注意し、体調がおかしい場合には早めに休むことです。また、万一の事故災害に備えて救急処置を知っておく必要があります。熱中症の病型での救急処置方法と予防法を以下のとおりまとめましたので参考にしてください。

## (1) 熱中症の症状と処置

### 【① 熱射病（日射病）】

【症状】熱中症の中では致死率が高く、緊急の治療を要します。体温調節機能の失調、体温又は脳温の上昇を伴う中枢神経障害が原因と考えられていますが、突然意識喪失に陥ることが多く、症状の前兆として めまい、悪心、頭痛、耳鳴り、イライラなどがみられ、嘔吐や下痢を伴うこともあります。

【処置】裸体に近い状態にして、冷水をかけながら扇風機の風にあてる。氷片でマッサージをするなどあらゆる手段を用いて体温を下げる。

### 【② 熱けいれん】

【症状】大量の発汗による塩分喪失に対して、これを補給しなかったことによって起こります。作業でよく使用する四肢筋や腹部の筋肉が、疼痛を伴って発作的にけいれんを起こすことがあります。けいれん発作は、作業中のみならず、作業終了時の入浴中や睡眠中に起こることもあります。体温はあまり上昇せず、血圧の変化もないことが多いです。

【処置】0.1%食塩水を飲まして涼しいところで休養させる。

### 【③ 熱虚脱】

【症状】高温環境下では体熱放散を盛んにするために、皮膚血流量が増加しますが、この時内臓への血流量、心臓への還流量、心拍出量が減少し、血圧が低下するので、代償的に心拍数が増加します。高温が継続し、この心拍増加が一定限度を超えたときに起こる循環障害をいいます。全身倦怠・脱力感を覚え、めまいから意識混濁し、昏倒することもあります。心拍は頻脈で微弱、血圧は低下して体温の上昇はほとんどみられません。

【処置】涼しいところで安静にし、水をとらせる。

### 【④ 熱疲労】

【症状】大量の発汗で、血液が濃縮し、心臓の負担増大や血流分布の異常が起こると、初期には激しい口渇、尿量の減少があります。やがてめまい、四肢の感覚異常、歩行困難などがみられ、失神することもあります。頻脈・体温上昇をみることもありますが、多量の発汗で皮膚は冷たく湿っており血圧の

異常をみないのが普通です。

[処置] 涼しいところで安静にし、水をとらせる。

## (2) 熱中症の予防 (厚生労働省資料抜粋)

熱中症の予防には「水分補給」と「暑さを避けること」が大切です！

水分・塩分、経口補水液（水に食塩とブドウ糖を溶かしたもの）補給

○こまめな水分・塩分、経口補水液の補給

熱中症になりにくい室内環境

○扇風機やエアコンを使った温度調整

○室温が上がりにくい環境の確保

○こまめな室温確認

体調に合わせた対策

○こまめな体温測定

○通気性の良い、吸湿・速乾の衣服着用

○保冷剤、氷、冷たいタオルなどによる体の冷却

外出時の注意

○日傘や帽子の着用

○日陰の利用、こまめな休憩

○通気性の良い、吸湿・速乾の衣服着用

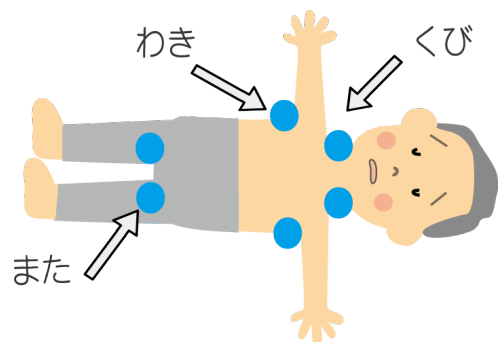
○天気の良い日は屋下りの外出はできるだけ控える



| 熱中症の症状       |       |               |
|--------------|-------|---------------|
| 軽度           | 中度    | 重度            |
| めまい<br>立ちくらみ | 頭痛    | 意識がない<br>けいれん |
| 筋肉痛          | 吐き気   | 高体温           |
| 汗が止まらない      | 体がだるい | まっすぐ歩けない      |

(環境省HP 参考)

## 冷やす場所



※センターでは熱中症対策として、屋外作業に従事する方を対象に、空調服の購入費用の一部を助成しています。詳細は巻末をご確認ください。

## 2. 食中毒に注意しましょう！

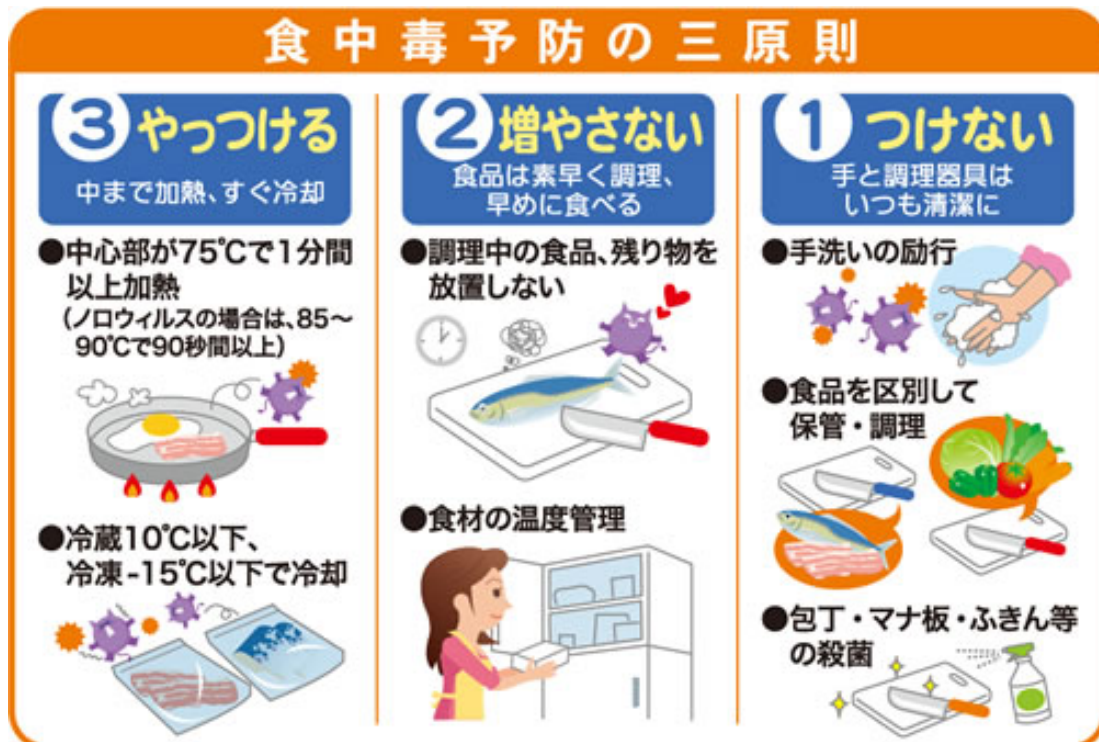
食中毒には、O157 やサルモネラなどの細菌による細菌性食中毒、食品に洗剤などの物質が混入したりして発生する化学性食中毒、毒キノコや自家調理のふぐなどを食べたときに発生する自然毒性食中毒などがあります。とりわけ発生が多いのが O157 に代表される細菌性の食中毒で、全食中毒のうち 90% 程度を細菌による食中毒が占めています。細菌がもし、まな板に付いていたとしても、肉眼では見えません。しかし、目に見えなくとも簡単な方法をきちんと行なえば細菌による食中毒を予防することができるのです。

食中毒は簡単な予防方法をきちんと守れば予防できます。それでも、もし、お腹が痛くなったり、下痢をしたり、気持ちが悪くなったりしたら、かかりつけのお医者さんに相談しましょう。

| 食中毒菌名                                                                                                  | 主な原因食品                                                                                                              | 菌の特長                                                            | 症 状                                                                                | 予防のポイント                                                                            |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>腸炎ビブリオ</b><br>   | 魚介類<br>(特に生食)<br>                | <b>塩分を好む。</b><br>(海水程度の塩分<br>2～5%でよく発育)<br>真水や酸に弱い。<br>夏期～秋口に多発 | 腹痛、下痢、発熱、<br>吐き気、嘔吐<br><b>【発病までの時間】</b><br>10～24時間<br>平均12時間                       | ・低温管理 (5℃以下)<br>・ <b>魚介類は真水で洗浄</b><br>・加熱調理 (75℃1分以上)<br>・二次感染防止                   |
| <b>サルモネラ</b><br>    | 鶏卵、食肉(特に鶏肉)<br>                  | <b>家畜、ペット、河川や<br/>下水などにも分布。</b><br>熱に弱い。<br>少量菌数で食中毒            | 悪寒、嘔吐、<br>腹痛、下痢、<br>発熱38℃～40℃<br><b>【発病までの時間】</b><br>5～72時間                        | ・食肉類の生食は避ける<br>・生食の加熱料理は<br><b>75℃1分以上</b><br>・卵は冷蔵庫保管、過熱<br>調理は十分な温度で             |
| <b>病原大腸菌</b><br>    | 多種の食品<br>井戸水<br>                 | <b>ヒトに対する発症<br/>機序により、5つに<br/>分類。</b><br>熱、消毒剤に弱い。<br>少量菌数で食中毒  | 腹痛、下痢、吐き気、<br>嘔吐、発熱、頭痛、血便<br>※ O157は死亡例も。<br><b>【発病までの時間】</b><br>12時間～8日<br>平均5日前後 | ・食肉類の加熱料理は<br><b>75℃1分以上</b><br>・定期的な水質検査<br>・十分な手洗いの実行                            |
| <b>カンピロバクター</b><br> | 食肉(特に鶏肉)<br>飲料水<br>              | <b>ペットを含む、あら<br/>ゆる動物に分布する。</b><br>少量菌数で食中毒                     | 発熱、下痢、<br>発熱39℃～40℃<br><b>【発病までの時間】</b><br>2～7日間<br>平均35時間                         | ・ <b>生食と調理した肉類は<br/>別々に保存</b><br>・十分な加熱<br>・飲料水の煮沸<br>・二次汚染防止                      |
| <b>ウェルシュ菌</b><br>   | 水や土壌特に食肉加熱調理品<br>(カレー、シチュー等)<br> | <b>大量調理食品中<br/>(酸素が少ない状態)<br/>で増殖</b><br><b>【嫌気性菌】</b><br>芽胞形成菌 | 腹痛、下痢、<br><b>【発病までの時間】</b><br>6～18時間<br>平均12時間                                     | ・ <b>十分な加熱調理</b><br>・調理後は早めに食べる<br>・ <b>加熱食品は短時間冷却・<br/>低温保存</b><br>・弁当、仕出し、集団給食注意 |



家庭でできる食中毒予防のポイントは、次の三原則になります。



食中毒予防の三原則をきちんと行い、家庭から食中毒をなくしましょう！

### 3. 令和7年度重篤事故発生状況

(全国シルバー人材センター事業協会)

全国のシルバー人材センターにおいて、令和7年度に発生した重篤事故の件数は、就業中が35件、就業途上が9件の合計44件で昨年度より8件増加し過去5年間で最多と深刻な状況となっております。

死亡者数は、就業中が23件、就業途上が5件の28件で昨年度の26件から2件の増となっております。

就業中の事故の48%（17件）が「墜落・転落」であり、植木剪定、樹木伐採等における墜落・転落事故が11件で7件が死亡事故となっております。また熱中症による死亡事故も2件発生しております。

就業途上の事故では、徒歩が4件、自転車が3件、バイクが1件、自動車が1件となっております。

就業中の事故におきましては、不注意、油断などが主な原因と思われます。

就業途上の事故の中には、必ずしも本人に過失責任があるとは言えない事故もありますが、自転車は軽車両です。自転車事故の多くは左側通行、一時停止を守ることにより防げるといった調査結果もあります。また令和8年4月より自転車の違反に新しい制度が導入され、16歳以上の自転車運転者が青切符の対

象とされております。免許はなくてもドライバー ルールを守って責任ある運転を！交通ルールを守ることはもちろん、自らの体力などに過信することなく、十二分の注意を払って頂きたいと思います。また、万一の事故に備えてヘルメットを着用しましょう。

| 年度   | 就業中 |    |    | 就業途上 |    |    | 総件数 |    |    |
|------|-----|----|----|------|----|----|-----|----|----|
|      | 死亡  | 入院 | 小計 | 死亡   | 入院 | 小計 | 死亡  | 入院 | 合計 |
| 7 年度 | 23  | 12 | 35 | 5    | 4  | 9  | 28  | 16 | 44 |
| 6 年度 | 15  | 7  | 22 | 11   | 3  | 14 | 26  | 10 | 36 |
| 5 年度 | 17  | 8  | 25 | 6    | 5  | 11 | 23  | 13 | 36 |
| 4 年度 | 15  | 4  | 19 | 5    | 5  | 10 | 20  | 9  | 29 |

(重篤事故＝死亡または 6 か月以上の入院)

## 7 月はシルバー人材センター事業 「安全・適正就業強化月間」です。

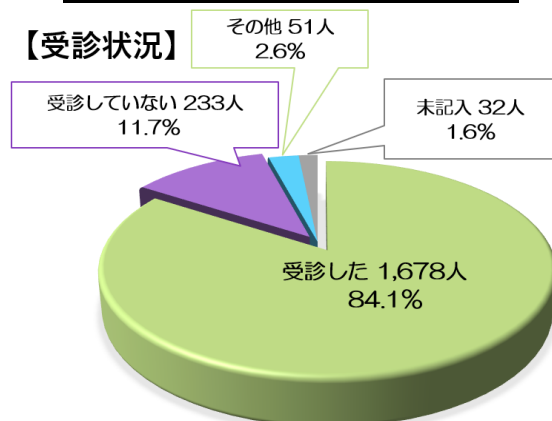
例年、国が実施する「全国安全週間（7月1日から7月7日まで）」に合わせ、7月を全国のシルバー人材センターにおいて「安全・適正就業強化月間」と全シ協により定められ、安全・適正就業について、全ての会員、役職員が個人そして組織全体の問題として捉え、事故の撲滅と受注及び就業形態の適正化を図り、「安全・安心」なシルバー事業の展開を図ることとしております。

## 4. 健康診査受診状況

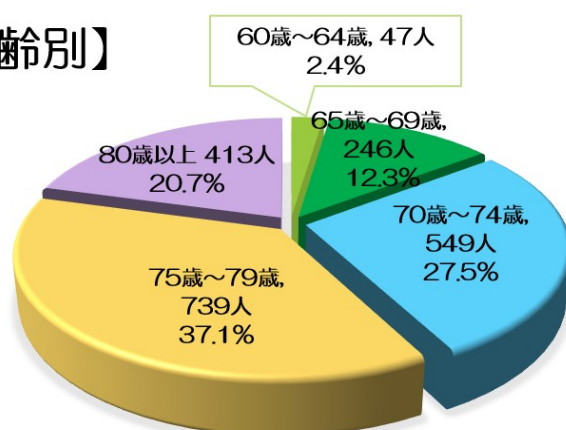
令和 8 年 5 月に実施させていただきました、健康診査の受診状況調査のアンケート結果を報告させていただきます。

対象者：2,084 人 回答者：1,994 人

| 受診者     | 未受診者  |
|---------|-------|
| 1,678 人 | 233 人 |



### 【年齢別】



いつまでも健康で過ごせるよう、楽しく仕事ができるよう、又、お客様にご迷惑をおかけしないためにも、未受診の会員の方々には年 1 回の健康診査の受診をお奨めします。

ご協力ありがとうございました。

## 5. 危険予知訓練（KYT）

令和 7 年度は、4 件（うち受託事業 2 件、派遣事業 2 件）の傷害事故が発生し、その内、交通事故が 3 件となっております。交通事故は自身が注意をしていれば防げるといったものではない事故です。

今回のイラストは、「薄暮時の交差点」という設定です。

自分には関係ないと思わずに、あなたの安全をあなた自身が確保するためにも、「危険予知レポート」に記述してみてください。

KYT シート 23 薄暮時の交差点



このとき、あなたは何に注意しますか？

イラストを見て、どんな危険が潜んでいて、どうなるか危険を予知してみてください。その中で一番危険なことはどれなのか、それを改善するためにどんな対策があるのか、その内、どれを最優先するのか等を「危険予知レポート」を使って、手順通り進めてみてください。そうすると、安全に対する感性がきっと向上しています。



|                                                                                                    |   |       |                                       |   |       |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------|---|-------|---------------------------------------|---|-------|
| 危険予知レポート                                                                                           |   |       | 年 月 日                                 |   |       |
| 第1ラウンド<どんな危険が潜んでいるか>危険要因とそれによって引き起こされる現象を想定する<br>第2ラウンド<ここが危険のポイントだ>重要危険に○をつけ、さらに絞り込み特に重要な危険に◎をつける |   |       |                                       |   |       |
| 危険要因と現象（事故の型）を想定し、「～なので～して～になる」と書く                                                                 |   |       |                                       |   |       |
| 1. 例：薄暮時の交差点で自転車と自動車の接触の恐れあり。互いに一旦止まって安全確認が必要。<br>自転車はヘルメットを着用のうえ、反射板を身に付けて事故予防を心がける。              |   |       |                                       |   |       |
| 2.                                                                                                 |   |       |                                       |   |       |
| 3.                                                                                                 |   |       |                                       |   |       |
| 4.                                                                                                 |   |       |                                       |   |       |
| 5.                                                                                                 |   |       |                                       |   |       |
| 第3ラウンド<あなたならどうする>◎項目を解決するため、「具体的で実施可能な対策」を考える<br>第4ラウンド<私たちはこうする>重点項目を絞り込み※を付け、実施するための行動目標を設定する    |   |       |                                       |   |       |
| ◎No                                                                                                | ※ | 具 体 策 | ◎No                                   | ※ | 具 体 策 |
|                                                                                                    |   | 1.    |                                       |   | 1.    |
|                                                                                                    |   | 2.    |                                       |   | 2.    |
|                                                                                                    |   | 3.    |                                       |   | 3.    |
|                                                                                                    |   | 4.    |                                       |   | 4.    |
|                                                                                                    |   | 5.    |                                       |   | 5.    |
| チーム行動目標<br>～をする時は<br>～を～して<br>～しようヨシ！                                                              |   |       | チーム行動目標<br>～をする時は<br>～を～して<br>～しようヨシ！ |   |       |

## ○ 自転車保険

### 自転車損害賠償保険に加入しましょう！

交通ルールを遵守して事故を起こさないようにするのはもちろんですが、それでもあなたが加害者になる自転車事故を起こしてしまうことがあります。そうした万が一の事故に備えて保険に加入しましょう。

保険料            1,930 円            支払限度額            1 億円

※ 20 名以上の加入者があった場合の金額です  
※ 令和 7 年の額（改定される場合があります）

保険期間：令和 8 年 11 月 1 日（午後 4 時から）から令和 9 年 11 月 1 日  
（午後 4 時まで）

詳細については、令和 8 年 10 月 1 日以降にセンター事務局までお問い合わせください。

**皆さん、安全就業を心がけましょう！**

## 6. 空調付き作業着等購入助成金交付要綱

### 公益社団法人吹田市シルバー人材センター空調付き作業着等購入助成金交付要綱

#### （目的）

第1条 この要綱は、公益社団法人吹田市シルバー人材センター（以下「センター」という。）会員が就業時の熱中症を予防するため着用する空調付き作業着等の購入費の一部を助成することにより、会員の健康及び安全就業の促進を図ることを目的とする。

#### （助成対象）

第2条 会員が就業時の熱中症予防のため購入した作業着に関するもので、次のいずれかに該当するものとする。

- （1）空調付き作業着
- （2）空調機器（ファン）が装着できる作業着
- （3）空調付き作業着専用の空調機器（ファン）
- （4）空調付き作業着専用の空調機器（ファン）用のバッテリー

#### （対象会員）

第3条 助成対象者はセンター正会員とし、当該年度においてセンターより提供を受けた業務で炎天下やエアコン等がない空間で終始従事している会員とする。

#### （助成金の額）

第4条 会員一人につき毎年度1回を限度とし、購入金額の2分の1以内で5,000円を上限とする。

2 助成金の額に1,000円未満の端数が生じた場合は、これを切り捨てる。

#### （助成金の申請及び支払）

第5条 助成金の交付を受けようとする会員は、空調付き作業着等を購入した日の属する年度の3月31日までに、空調付き作業着等購入助成金支給申請書兼請求書（様式第1号）に購入内容が明記された領収書等の写しを添付のうえ申請するものとする。

2 センターは、前項による申請書兼請求書の提出を受けたときは、これを審査し、交付の決定をしたときは、会員の配分金支払銀行口座に請求のあった日から30日以内に振り込むものとする。

#### 附則

この要綱は、令和7年4月1日から施行する。

**熱中症対策の一環として、本制度をぜひご利用ください**

様式第 1 号（第 5 条関係）

空調付き作業着等購入助成金支給申請書兼請求書

請求日 令和 年 月 日

公益社団法人吹田市シルバー人材センター

理事長 青木 博久 様

会員番号 \_\_\_\_\_

会員名 \_\_\_\_\_

会員住所 吹田市 \_\_\_\_\_

電話番号 \_\_\_\_\_

下記の物品を購入しましたので、公益社団法人吹田市シルバー人材センター空調付き作業着等購入助成金交付要綱に基づき、助成金支給の申請及び請求を致します。

1. 助成金の額 \_\_\_\_\_ 円

2. 購入物品・金額・購入日

（空調付き作業着等を購入した際の領収証等の写しを添付）